

より良いまちづくりについて語り合う 市民が主役。 地域未来づくりプロジェクト！ を開催しました

10月4日から11月24日にかけて「市民が主役。地域未来づくりプロジェクト!」を市内7地区で開催しました。7月に市民の皆さまが主体となり「地域の未来を語り合う座談会」を実施し、住民自らが決定したテーマを基にテーマ型で開催したところ、地元の高校生の参加もあり、延べ243人の皆さまにご参加いただきました。

参加者の皆さまのご意見やご提案の中から、主な内容をご紹介します。

有明地区

コミュニティの存続、特性を生かしたまちづくり

- ・子どもたちのふれあいの場がなく親としても寂しい。
- ・ニーズに合わせてイベントの内容を変えていくことも大事だと感じる。
- ・自治会を通じてイベントの参加者を募る際、多くの自治会長が1年で交替するので責任感が薄くて参加者を集めるのが難しい。
- ・お得感のあるイベントなどの開催でお母さんたちの交流を増やしてはどうか。
- ・隣同士の関係を作ることが大事だと思う。
- ・小さなイベントの一つ一つが各地域で繋がりにのきっかけになる。

交通の便の解消

- ・たしろ号の停留所を増やしてほしい。
- ・子どもたちの登下校時、側溝のふたが無いところが多くて危ない。

その他

- ・聴覚障害者へのサポートが増えれば良いと思う。手話通訳者養成講座など開催し、手話に親しみ、それを通じて障害への理解も深めてほしい。



三会地区

若者が地元に残るような雇用の創出

- ・耕作面積を広げたい農家が農業をリタイアして残った農地を借りることで、自然と雇用が生まれると思う。
- ・地域産品をブランド化し、売り出せないか。地元住民が会社を作れば雇用に繋がる。

農業の魅力づくり・農家の後継者問題

- ・三会でやるべき産業は農業。流通環境の整備を進めると若い人も助かるのでは。
- ・若者はどうしても都会に行きたがる。
- ・県外から農業をしたい人などをネットなどで募り、島原市に来てもらっては。

学校の統廃合

- ・統廃合で「三会」という文字が消え、地域性が無くなり、子どもたちが減っていくことにならないか心配。
- ・地域のコミュニケーションは大事だと思う。統廃合については慎重に行ってほしい。



杉谷地区

既存の施設や資源の活用方法

- ・中尾川の堤防沿いは良い散歩コース。
- ・水源を上手に活用して、泳ぐ、野草を採る、動植物を品種改良するなどしてはどうか。
- ・杉谷ならではの良い所を皆で開発・維持・復元すればさらに良いのでは。

新たなイベント作り（夏祭り・子どもサミットなど）

- ・子どもサミットを開催したら、すごく良かった。次の開催も準備している。
- ・eスポーツの大会を公民館で開催したらどうか。
- ・イベントは、多くの組織がまとまって実施していくべき。

その他

- ・折橋の砂防堤にこいのぼりを泳がせたい。
- ・セメントの擁壁に絵を描き、山側に本物の普賢岳があり、海側に絵の普賢岳があるようにすると面白いと思う。



森岳地区

子育てに関する問題

- ・近所の子どもたちに声掛けを続けることが大事。
- ・親子で参加できる行事を定期的にできると良いと思う。
- ・子どもたちにいろいろな年代の方々と交流を持ってほしい。いろいろな経験をさせて育てていきたい。

高齢化問題による役のなり手不足や地域団体の存続

- ・町内会のような地域団体に入ることでも得られるメリットを教えてほしい。
- ・町おこしの際、楽しく和気あいあいとやるのが大事。苦勞すればやりがいがあったと言える環境が大事。

道路・歩道・お城周りの雑草やごみ問題

- ・島原城周辺の美化について、個人や団体だけでなく地区全体で協力してほしい。子どもも巻き込んで一緒に掃除したい。



霊丘地区

アーケードの活性化

- ・週末は観光客が多く外国の方も増えてきた。何を求めて来ているのかを研究し取り組んでいけば、もっと人が呼べると思う。
- ・子育て支援の施設があった頃、子連れの方々と賑わっていた。そういう施設ができれば賑わいも出てくるのでは。

既存イベントの認知度を上げる方法

- ・ネットや知人からイベントの情報を聞いて参加することもある。SNSも活用を。
- ・広報紙に未来のイベントを掲載することで市民が動きやすくなる。

高齢者と子育て

- ・歩道を整備し、高齢者も子どもも安心して通れるようにして欲しい。
- ・児童館が閉鎖したら、子どもたちが集う場所がなくなるためアーケードにそのような施設をがほしい。



白山地区

精霊流しの活性化・担ぎ手不足の問題

- ・学生もいろいろな経験をしたいが実施日に行けないことがある。参加できる回数や機会を増やしてほしい。
- ・告知をポスター等で行えば、伝統保持、継続に生きてくると思う。
- ・白山地区の精霊流しを県外からも見に来てほしい。
- ・子どもたちが精霊船造りに少しでも関わることで、自分たちもしたいという気持ちになるのではないか。

自主防災の活性化

- ・常に近所の方との顔の見える関係、コミュニケーションが大切なのではないかと思う。
- ・町内会未加入の方と災害時にどう関わり、助けるかが最優先課題である。

その他

- ・高齢者の移動手段がバスなどになるが、運転手不足で便が少ない。



安中地区

イベントや会議に、若者が参加しやすくする方法

- ・準備や当日の1回だけ参加しても歓迎され、雰囲気の良いればその後も参加したいという気持ちになると思う。
- ・安中地区は地域コミュニティが活発で横の繋がりは出来ているので、縦の繋がりを作っていただければもっといいと思う。
- ・子ども達が思い出を作ることで、安中地区に思い入れを持ってもらうことが大事。

空き家の新たな活用（宿泊施設など）

- ・子ども食堂のようなことができないか。
- ・合宿で来たスポーツ団体の宿泊所として活用できないか。
- ・誰でも自由に遊べる場所として活用すれば良いと思う。

その他

- ・校歌をアレンジして、盆踊りを作って今後使えないか。
- ・地域行事は記憶に残るし、関わった人は忘れない。継続することで、災害時にも顔見知りで助け合える。



たくさんの貴重なご意見やご提案、ありがとうございました。

来年度の開催について

今回、多くの意見や提案が出ていましたが、中でも「まちづくり」に関連する発言が多くありました。

そこで、来年度はテーマを「まちづくり」に絞り開催を予定しております。

また、開催方法については、さらなる創意工夫を図りたいと思っておりますのでご協力をお願いいたします。

なお、開催時期などについては、改めてお知らせします。

問合せ先 市民協働課